

地域密着型金融の推進計画

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

I. 項目毎の取組方針

渡島信用金庫

項目	具体的取組方針	取組内容
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業	① 地域におけるベンチャー企業向け業務	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書の策定支援を図る。 ・北海道地区産業クラスターサポート会議等へ出席し、情報収集の上、優良案件の発掘に努める。
(2) 経営改善支援	① 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先地場企業を対象にした、展示・商談会「しんきんいいものフェア2007」へ参加し、企業への支援を図る。 ・資金繰等の改善のため、事業活性化支援資金「楽ちん」の取扱を実施。 ・「おしま経営研究会」、「渡島会」のネットワークを強化する。
(3) 事業再生	① 要注意先債権等の健全化等に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・要注意先以下の債務者に対して、営業店は「分類貸出先の経営改善報告書」を作成し指導を実施する。 ・審査部は同報告書に基づき、営業店と連携を図り、経営改善の可能性のある債務者を選定し、支援方針を検討する。 ・経営改善の可能性のある債務者については、審査部が主体となり、経営改善計画等のヒアリングを実施する。 ・各種研修会へ参加し、再生のノウハウを身につける。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組	① 担保・保証に過度に依存しない融資の推進を図るために、融資後のモニタリングを継続	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先への訪問による業況把握の実施。 ・決算書および試算表徴求による事後確認の継続実施。 ・財務データの蓄積。 ・地場産業の主力である水産加工業者に対し、事前モニタリングを実施し、審査部および営業店による水産関連情報連絡会議の実施。
(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組	① 目利き力向上のための人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・本部集合研修の実施。 ・理事長が主催する若手幹部職員養成講座としての「いとう塾」の開催。 ・全信協および北信協の外部研修への職員参加。 ・ファイナンシャルプランナー検定の受験。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・同一的な「面」的再生への取組	① 地域経済の活性化を総合的に図っていくため、様々な会議等へ積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地区しんきん企業支援研究会へ参加し、業界内での再生ノウハウの共有化を実施する。 ・(財)北海道中小企業応援ファンドへ参加し、地域企業の活性化および支援を図る。 ・高校生を対象としたインターンシップを実施し、多重債務者問題などの啓蒙活動を実施。
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	① 社会問題となっている、多重債務者の救済を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先への訪問による業況把握の実施。